

×不適当な写真例

目

カラーコンタクトや瞳の縁を広げるコンタクトを装着したものや、フラッシュ等の影響により瞳が赤く写ったものは不適当です。

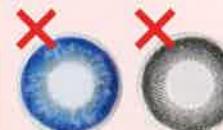
上記コンタクトを着用の場合、出入国の際、トラブルになる可能性があります。



カラーコンタクトを装着したもの



フラッシュ等により瞳が赤く写ったもの



意図的にフラッシュやライトの形が写り込んだもの

眼鏡

より確実な本人確認のため、眼鏡を外した顔写真を推奨します。眼鏡を着用するとき、色付きのレンズや反射、影があるものは不適当です。また、目を妨げる縁、フレームがないものに限ります。医療上必要とされる限り、サングラスや処方のない色付きの眼鏡は不適当です。



色付きの眼鏡やサングラス

眼鏡に照明が反射したもの

眼鏡のフレームが目にかかる
いるもの



つけまつげ、まつげエクステの影
があるもの

影

顔や背景に影が写ったものは不適当です。



顔の影があるもの



背景の影があるもの

撮影品質

撮影時にピントが合っていないかかったり、手ぶれにより不鮮明なものや、顔にてかりやムラがあるものは不適当です。



ピンぼけや手ぶれにより不鮮明な
もの



てかりやムラがあるもの

画像加工・画像処理

目を大きく見せたり、美白処理、顔のパーツやほくろ、しわ等を修正する等して、本人のイメージを変えたものは不適当です。出入国の際、トラブルになる可能性があります。また、左右反転※した写真は不適当です。



目を大きくしたり、顔のパーツが
変形したもの



変形やマスキング等の画像処理
をほどこしたもの

画像・印刷品質

デジタル画像の過剰な圧縮等が原因となってノイズ（画像の乱れ）が発生しているものや、ジャギー（階段状のギザギザ模様）、印刷時のドット（網状の点）やインクのにじみがあるものは不適当です。写真専用の用紙を使用し、鮮明な画質で印刷してください。



ノイズ（画像の乱れ）があるもの



ジャギー（階段状のギザギザ模様）
があるもの



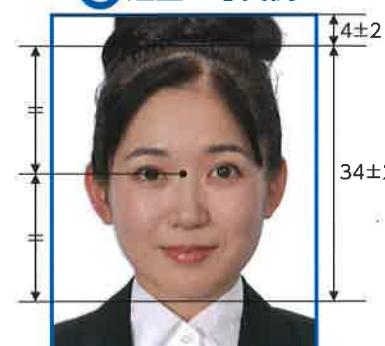
ドット（網状の点）やインクのに
じみがあるもの

※使用するカメラアプリによっては左右反転する場合がありますが、不適当です。

髪のボリュームが大きい場合

目から顎までの幅と同程度の幅を目から上側にとり、その部分を頭頂とみなして（右図参照）、サイズを調整してください。

○適当な写真例



× 不適当な写真例



乳幼児の撮影について

補助者の身体の一部が写り込んでいる場合や、目を閉じている場合は不適当です。顔の向きや動きによる手ぶれにも注意してください。

座れない場合は、白色のシーツ等に寝かせて真上から撮影した写真でも問題ありません。

○適当な写真例



× 不適当な写真例

